

2025年10月22日
株式会社パソナグループ
ヤンマーホールディングス株式会社
一般社団法人 Well-being in Nature

「パソナグループ」「ヤンマーホールディングス」「Well-being in Nature」 食とエネルギーの自給率向上と循環型社会の実現に向けた連携協定を締結 ～ 淡路島を起点に、全国へ持続可能な農業モデルを発信～

株式会社パソナグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役会長 CEO 若本博隆）とヤンマーホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 山岡健人、以下 ヤンマーHD）、一般社団法人 Well-being in Nature（所在地：東京都港区、代表理事 小林直樹）は、食とエネルギーの自給率向上と循環型社会の実現に向けた連携協定を、2025年10月22日（水）に締結いたしました。



▲左から、パソナ農援隊 代表取締役 田中康輔、パソナグループ 代表取締役会長 CEO 若本博隆、
ヤンマーHD 代表取締役 (COO) 山本哲也、Well-being in Nature 代表理事 小林直樹

パソナグループは淡路島を中心に入材誘致、農業振興、観光資源の活用を通じて地域の魅力発信に取り組んでいます。ヤンマーグループは人と自然が共生する持続可能な社会の実現を目指し、食料生産とエネルギー変換の分野で事業活動を行っています。また、Well-being in Natureは、農山漁村の自然の健康効用を活用し、心身の豊かさを育むライフスタイルや食の仕組みづくりを広げています。

本連携では、“「農」を通じたウェルビーイングな社会の実現”をテーマに、3社がそれぞれの強みを結集。農業を通じて地域社会や人々の心身の豊かさに貢献する農業者を称える「Wellness Farmer Award」の創設や、新規就農者の教育・支援を目的とした人材育成プログラムを共同で展開し、技術力と経営力を兼ね備えた次世代農業人材の育成に取り組みます。

さらに、淡路島での環境再生型農業やエネルギー循環モデルの構築を通じて、食とエネルギーが循環する持続可能な農業のあり方を実証・発信し、全国へと展開してまいります。



PASONA



Well-being in Nature

■ 連携概要

締結日： 2025年10月22日（水）

連携事項： (1) 「Wellness Farmer Award」の創設

農業を通じて地域社会や人々の心身の豊かさに貢献する農業者を称えるアワードを新設。土壤の健康、作物の品質、地域との関わりなど、総合的なウェルビーイングの観点から、持続可能な農業を実践する“次世代のスター農家”を毎年表彰。農業・食・環境・観光など多様な分野の専門家による推薦・選考を経て受賞者を決定。第1回の表彰は、2026年秋に開催予定。

(2) 「Wellness Farm Club」の協働推進と農業人口の拡大

趣味・生活の一部として農業に取り組む「ライフスタイルファーマー」の創出に向けた活動を共同で実施。パソナ農援隊が推進する企業向けの体験型ヘルスケアサービス「Wellness Farm Club」の普及とプラットフォーム化を推進。土に触れる癒しや農業がもたらす心身の健康（アグリヒーリング）の魅力を広め、農業参入の促進につなげる。さらに、農業に参入しやすい制度作りの推進や子どもたちへの「農と食」の教育など、次世代につなぐ農業の仕組みづくりに取り組む。

(3) 「Awaji Nature Lab & Resort」の協働開発

パソナ農援隊が運営するサステナブルガーデン「Awaji Nature Lab & Resort」において、食と農業の循環の仕組みづくりを進めるとともに、ヤンマーHDが推進する「未来の農地を守るプロジェクト」の一環として、環境再生型農業と営農型太陽光発電を組み合わせたソリューションを導入。発電したエネルギーは、パソナグループが展開する淡路島の飲食施設やテーマパーク及び農業活動で活用予定。各社が連携することで持続的な農業と地方創生のモデル開発に取り組み、食とエネルギーの自給モデルを創出・発信。

(4) 新規就農者の教育・支援

持続可能な社会の実現に向けて、新規就農者の教育・支援を目的とした人材育成プログラムを共同で企画・推進。「地球と人の健康に貢献できる人材を育成すること」を理念に掲げ、パソナグループが得意とするブランディング・販売・経営の専門的支援とヤンマーHDが有する生産・技術・機械に関するノウハウを活かした実践的な技術研修を組み合わせ、農業の現場で必要な技術力と経営力の両面を兼ね備えた次世代農業人材の育成を目指す。



PASONA



Well-being in Nature

■ 会社概要

<パソナグループについて>

パソナグループは、1976 年の創業以来「社会の問題点を解決する」という企業理念のもと、ダイバーシティを推進し、一人ひとりが夢と誇りを持って活躍できる機会を創造し続けてきました。

2008 年からは、兵庫県淡路島にて“人材誘致”による新たな地方創生事業に挑戦。心身ともに健康で心豊かな生き方・働き方の実現と、淡路島の持つ豊かな自然や食、文化を活かした健康産業をはじめとする夢のある新産業の創造に挑戦しています。

詳しくは、パソナグループのウェブサイト <https://www.pasonagroup.co.jp/>をご覧ください。

<ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギー・システムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHG フリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE—テクノロジーで、新しい豊かさへ。—”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<Well-being in Natureについて>

一般社団法人 Well-being in Nature は、2023 年に農業や農山漁村の自然の健康効用を活用した健康経営の仕組みを開発・普及するための「共創の場」として設立され、現在異業種約 20 社の企業・法人が参画いただいている。医農福・産官学の連携によって「健康で幸福度の高いワーク・ライフスタイル」の開発・普及を進め、農業をライフスタイルとして楽しむ新たな農家人口の拡大を目指しています。

<https://well-beingnature.net/>

▼報道関係者からのお問合わせ

ヤンマーホールディングス株式会社 マーケティング部 コミュニケーション部

E-mail : koho@yanmar.com